

「テロとの闘い」と日本の補給支援活動

自衛隊による補給支援活動

- 国際社会の責任ある一員としての我が国の取組
- インド洋の海上交通の安全 → 石油の安定供給の確保

内閣官房・外務省・防衛省

平成20年10月

国際社会の「テロとの闘い」 ～主要8カ国の活動状況～

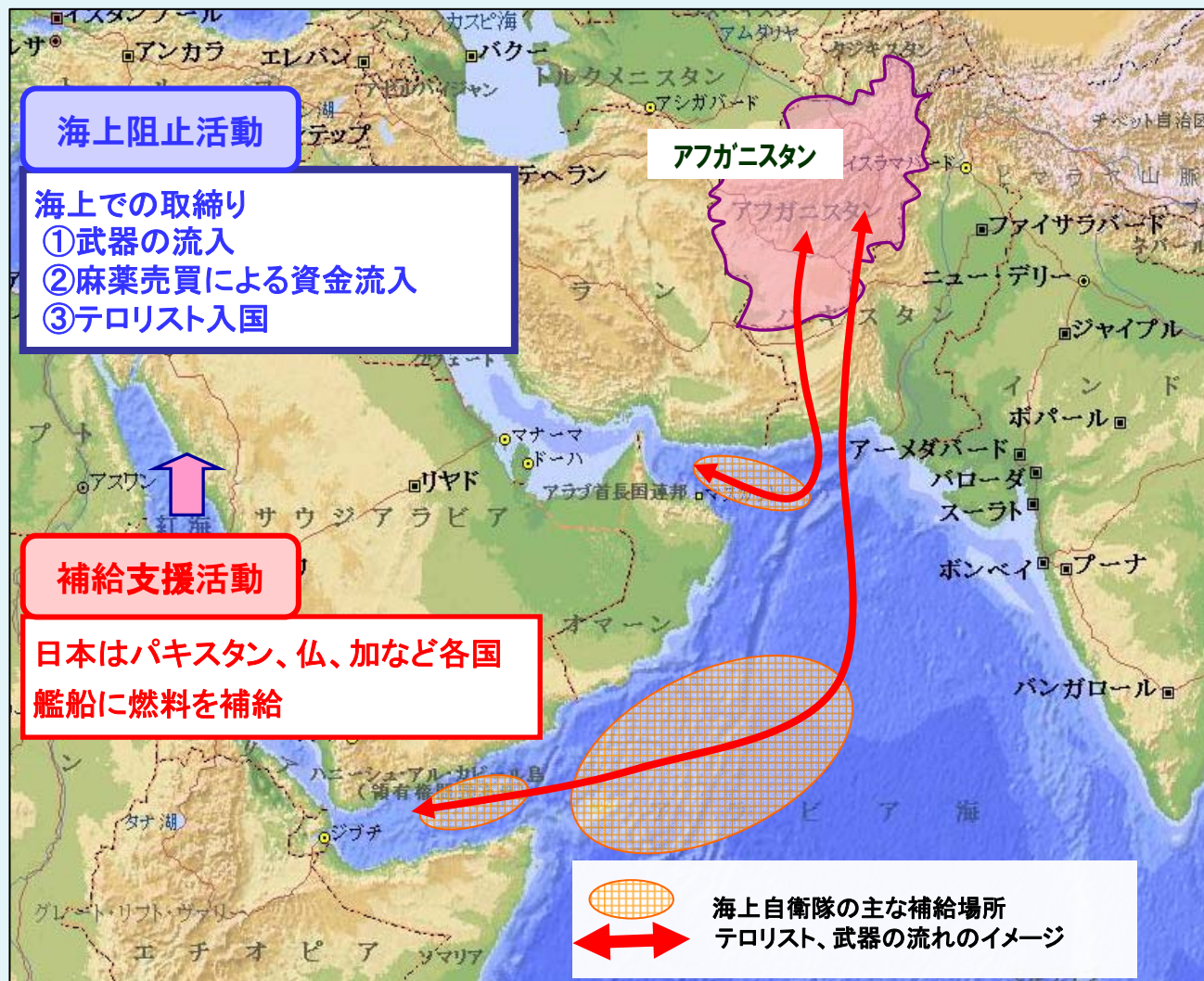
	不朽の自由作戦(OEF)		国際治安支援部隊 (ISAF) (地方復興チーム(PRT)として派遣される部隊を含む)	活動に伴う 犠牲者数※2
	陸上での活動	海上での活動		
米	○	○	○	605名
英	○	○	○	120名
仏	○	○	○	22名
加	○	○	○	97名
独	×	○	○	23名
伊	×	×	○	12名
日	×	○ ※1	×	0名
露	×	×	×	—

※1 日本は海上阻止活動本体へは参加せず、補給支援特措法に基づき、テロ対策海上阻止活動を行う諸外国の艦船に対する補給支援活動を行っている。補給支援活動を中止すると、主要先進国の中で、「テロとの闘い」に部隊派遣の形で参加しない国は日本とロシアのみになる。

※2 犠牲者数は、CNNホームページに掲載されたもので、10月3日現在までの統計。

我が国による補給支援活動

我が国の人的貢献は復興支援以外は補給支援活動のみ。各国から高い評価。
自衛隊が補給した他国艦船が海賊被害の日本船を救援した事例あり。



海上阻止活動－麻薬の押収実績

平成20年2月から6月の5か月間の実績
合計10件 麻薬押収量約30t



平成19年全国麻薬押収量
約840kg(※)の約36倍

(※警察庁HPより。覚せい剤、乾燥大麻、コカイン等の計。)



(左2枚の写真は共にカナダ海軍ホームページより)

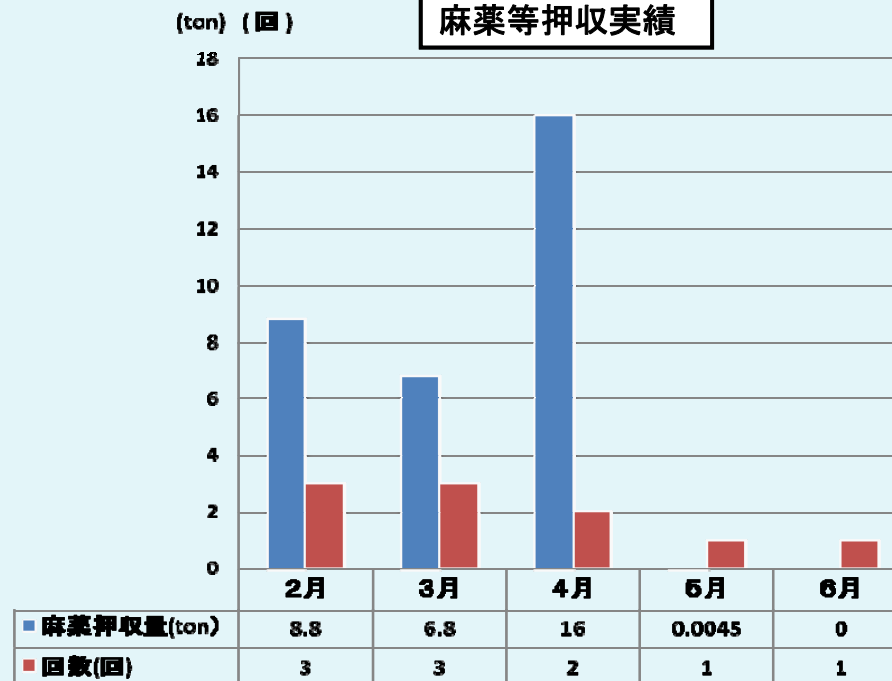
08年2月18日カナダ・フリゲート
Charlottetownが乗船検査している様子)



(写真(上))は第5艦隊ホームページより

08年7月10日英・フリゲートChathamの要員が乗船検査している様子)

麻薬等押収実績



(注)6月の1回についてはアルコールの押収例である。

海賊が多発

海賊発生状況(2007年)



※発生件数:IMB(国際海事局)海賊センター統計による

(米艦艇要員から支援を受けるケミカルタンカー「ゴールデン・ノリ」※第5艦隊HPより)



「高山」襲撃事案(2008年4月21日)

- ・ 日本郵船所有・日本船籍タンカー「高山」(約15万トン、邦人7名含乗員23名)が、アデン湾にて被弾。
- ・ 海自が補給したことのあるドイツフリゲート艦が救援に向かった。



(被弾した「高山」、全長332m)

ケミカルタンカー「ゴールデン・ノリ」シージャック事案(2007年10月28日)

- ・ 日本のドーヴァル海運株式会社所有・パナマ船籍のケミカルタンカー「ゴールデン・ノリ」号(乗員23名、邦人なし)が、ソマリア沖でシージャック。
- ・ 海上阻止活動に参加する米軍艦船による救援。

海上交通の安全を確保

2002.10.30 1558.1

中東からの原油輸入額
1ヶ月あたり **約8,850億円** ※1

(日本は中東から約9割の原油を輸入)



補給支援活動による外国艦船への譲与燃料の経費
1ヶ月あたり **約1.6億円** ※2

タンカーが往復で
90隻常に列をなし
ているイメージ※3

海上輸送路にあたる海
域の安定化は、石油の
安定供給にも関わる

※1 財務省貿易統計を基に試算

※2 2008年3月から7月の実績の平均

※3 2006年石油連盟の実態調査等から試算。ペルシャ湾から日本に航行するタンカー633隻/年、日本までの航海所要日数25日として計算。

我が国の支援（既に様々な分野で実施）

我が国は、「車の両輪」の1つとして、2001年9月以降、これまでに総額約14.5億ドルの人道・復興支援(ODA)を実施。

政治プロセス

選挙支援、憲法制定支援、
行政経費支援、メディア支援等

治安改善

DDR(元兵士の武装解除・
動員解除・社会復帰)支援、
DIAG(非合法武装集団の解体)支援、
地雷除去、麻薬対策、
警察支援、国境管理等

復興支援

幹線道路整備等のインフラ整備、
農業・農村開発を中心とする
地方総合開発、
学校建設等の教育、
医療器材・医薬品供与等の保健・医療。

改修前



マザリシャリフ市内学校施設

改修された校舎



改修前



マザリシャリフ市内道路

改修された道路



アフガニスタンの治安は、厳しい状況。JICAも活動しているが、アフガニスタン本土での活動は決して容易ではない。